

決算について
質問しました!

決算審議

平成
20年度

平成20年度決算審査特別委員会

議員全員が委員となり、審議を行いました。委員長は菅澤正夫議員、副委員長は秋山行三議員が指名されました。ここでは、一部の質疑内容を掲載しました。

一般会計

Q 越川幸昭委員 町税の軽自動車税について伺います。実際に車や農耕車がなくても廃車の手続が終わっていない場合、税金はかかります。何年も滞納している場合は、指導などを行っていますか。

A 税務課総括主幹 隣戸徴 収の際や、納税者の方が窓口にもえた際に、事情を聞き、出来る限りの助言指導をしております。

Q 菅澤昌則委員 廃止路線が昨年より400万円増え、約1200万円支出していますが、詳細を伺います。

A 企画財政課長 廃止路線 は4路線あります。水戸線(多古⇄横芝)、赤池線(空

| 千歳交通バス通過予定時刻表 | |
|---------------|-----|
| 空港行 | 山倉行 |
| 5 | |
| 6 | |
| 7 | 47 |
| 8 | |
| 9 | |
| 10 | |
| 11 | |
| 12 | |
| 13 | |
| 14 | |
| 15 | |
| 16 | |
| 17 | |
| 18 | |
| 19 | |
| 20 | |
| 21 | |

平日のみ運行
※土曜・日祭日・12/30~1/31は臨時バス運行

利用者の減少により減便する路線バス

港第2ターミナル⇄栗源)、桜田線(多古⇄大栄支所)、千代田線(空港第2ターミナル⇄山倉)です。関係市町の補助を受けて運行しています。が、利用者が減り、運賃収入が減っているためです。

Q 石渡悦子委員 防災備品購入費399万円ありますが、内訳をお伺いします。また、現在の備蓄状況をお尋ねします。

A 総務課長 20年度は防災行政無線の戸別受信機100台分を購入しました。備蓄の状況については、役場庁舎と久賀小学校等に防災倉庫を設置しています。毛布やブルーシート、発電機などを備蓄しています。食料等については、緊急の場合町内の商店にお願いして用意することに対応を考えています。

Q 鎌形榮一委員 購入とリースについて、どのように

決めているのか伺います。

A 総務課長 各担当課で充分検討し判断しています。パソコンの場合は、機種が頻繁に変わってしまします。のでリースとしたり、公用車の場合は、長期の利用を考えて買取りとするなど、有利な方を選択しています。

Q 小川藤男委員 公用車の管理の状況について伺います。

A 総務課長 総務課管財係において全車を毎月1回定期点検しています。使用する課には日常の点検整備を行うようにといったことで管理不足による不具合が生じないように対応しております。

Q 伊藤信也委員 農業従事者が高齢化していることから、優良農地が耕作放棄されている状況について、町としての対応を伺います。

A 産業経済課長 耕作放棄地の問題は、大変重要な課題として位置づけ、20年度において町内の調査を実施しました。また、今年3月には、



風車は風力発電をしています

Q 広瀬弘二委員 町道の整備について伺います。特に、農地と道路に高低差がある場合、雨水により排水で道路に土が流れ出たり、農地に水が流れ込んでしまうといった所があるようです。対応は

県や関係土地改良区等の団体が構成される「多古町耕作放棄地対策協議会」を立ち上げました。

Q 加瀬芳廣委員 風力発電機器保守委託料約11万円について内容を伺います。道の駅多古の風車は、多古町メインの場所ですので壊れたままにせず、格好のいいものにしてほしいと思います。

A 町長 風力発電機3基の点検委託です。風力発電の発電機については現在1基回っていないものがあります。今後取り外して修繕する方向で考えています。

どうしていますか。

A 都市整備課長 毎年区長さんを通じて要望箇所が上がってきております。緊急性を要する所から順に整備をしております。できるだけ側溝をつけたいと考えますが、流末が確保できないなど問題もあり、予算の範囲で工夫しながら改善していきたいと思っています。

Q 柳下義衛委員 多古中学校第2グラウンドの整備について、グラウンド入り口の勾配が急で安全上問題があることや、排水の整備について、今年補正が出ていますが、昨年の用地測量業務委託料、設計委託料のなかで、もう少し検討して研究すべきことではなかったかと思えますが、どうでしょうか。

A 教育課長 今後執行する際は充分注意していきたいと思えます。安全対策については、グラウンドの上に平場ができますが、そこに将来倉庫等を確保したいという学校の要望もありますので、出来れば転落防止用の柵で対応していきたいと考えております。

学校給食センター事業会計

Q 椎名義光委員 子どもたち「食育」について、学校と連携する必要があると思えますが、活動内容を伺います。

A 学校給食センター所長 栄養士が学校に伺って、食育教室を開くようにしております。直に生徒さんと話をし、食の大切さを知っていただく目的で実施しております。

国民健康保険事業特別会計

Q 椎名義光委員 国保税の軽減対策について、決算をみると軽減できる状況にあると思えますが、方向性を伺います。

A 町長 単年度収支を見ますと余裕があるように見えますが、運用の中で基金を増やしておきたいと考えています。もう少し現状のままできたいと思えます。

A 住民課長 本年度新型コロナウイルス感染症により、保険給付費がどのくらい増えるか予想がつきません。運用上資金不足にならないように今の税率でお願いしたいと思えます。

多古中央病院事業会計

Q 所 一重委員 医師が増えたということですが、患者数の推移と経営状況を伺います。

A 病院事務長 昨年の同時期と比較して、外来患者数は延べ2005名増加し、1日平均患者数は159名です。入院については1944名増えて、病床利用率は63.1%となっております。収支の状況については、入院収益、外来収益ともに伸びてきています。一方支出についても患者数の増加に伴う経費が増えた部分があります。町からの繰入金を除いた経常収支は、赤字額が1億1328万円余りありますが、昨年に比べ赤字幅が改善してきています。経営改善については、職員一人一人が改善に向けた意識を持つということを進めております。

水道事業会計

Q 椎名義光委員 赤字の原因として、利用水量の減少による料金収入の減と設備投資の増加ということですが、料金収入で設備投資を進めるには、利用者に負担が回ってくるようになります。料金を上げなくても維持でき

る方法を考えるべきだと思いますが、町長は料金改定についてどのように考えますか。

A 町長 水道管の破裂や断水などが多発している現状があります。一日も早く配管等の整備をしなければなりません。また、石綿管の交換については、間もなく工事が終了するという状況です。で、大きな事業は来年度見通しがつくと認識しています。すぐに値上げをするということではありませんが、今後の状況や推移を見ながら検討させていただきたいと思えます。



給食を食べながら楽しく学びます



委員長を務める菅澤正夫議員